



●オートバイ整備の基本的な技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないでください。●取り付けの際、車種ごとのメーカーサービスマニュアルと併せて作業を進めてください。●不正な取り付け、改造、仕様変更をしないでください。●異常を発見した場合は直ちに走行を停止し、点検してください。●仕様については予告なく変更する場合があります。

本製品の保証期間は 6 ヶ月です。お買い上げ日のわかる領収書もしくは納品書を本書と一緒に大切に保管してください。保証期間内に製造上の原因による品質不良があった場合は、お買い上げの販売店様までご連絡ください。不良内容を確認のうえ、製品を修理もしくは交換させていただきます。ただし、本製品の修理・交換以外のいかなる事柄（物的損害、人的損害）に対して、弊社は賠償の責任は一切負いかねます。あらかじめご了承ください。

NOTE

スクリーンロック解除 Release screen lock



3 秒間長押し
Hold for 3 sec

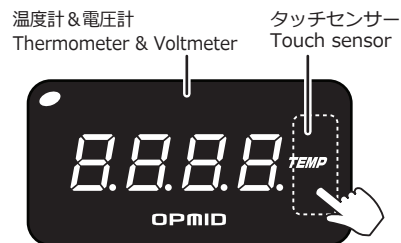
大雨など、多量の水濡れによる誤作動を防止するために本製品は常にスクリーンロックをかけています。3 秒間タッチすることでロックを解除し、各種操作が可能になります。無操作で 5 分経過すると再びロックがかかります。To prevent malfunction caused by heavy rain, this product always keeps screen lock. Touch for 3 seconds to release the lock. It will be locked again after 5 minutes of no operation.

特徴 Features

カプラーオンで純正温度センサーから信号を読み込む油温計 & 電圧計。
配線加工は一切不要。
最高温度記録と温度警告機能付き。

- 温度計：-10°C ~ 180°C (14~356°F)
- 電圧計：8V ~ 18V
- 7セグメントx4 グリーンLED 透過式ディスプレイ
- タッチセンサー式操作ボタン（右前面）
- 本体サイズ：W57mm x H29mm x D10mm
- 防水規格 IP66 に相当（あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない）
- 安定動作電圧：DC10~16V
- Temp: -10°C ~ 180°C (14~356°F)
- Volt meter: 8V ~ 18V
- Display: 7 Seg x 4 Green LED
- With Touch sensor (Right front)
- Size: W57mm x H29mm x D10mm
- Waterproof cord: IP66
- Operating voltage: DC10~16V

※AC12V に接続しても壊れませんが、正常に作動しません。



NOTE

右下の点の点灯で
タッチの反応を示します。



操作手順 Operating procedure

キー ON Key switch ON

起動画面 Startup screen



OPOP がスクロール
OPOP scrolls

4 秒後
after 4 sec

スタートアップ電圧計 Startup voltmeter



設定秒数後
After the set number of seconds

以下の操作にはスクリーンロックの解除が必要です。
Necessary to release screen lock.

温度計 Thermometer



-10°C ~ 180°C
(14~356°F)

短押し
Short

最高温度 Max. temp



C が点滅
C is Blinking

短押し
Short

電圧計 Voltmeter



8.0V ~ 18.0V

短押し
Short

NOTE
高温警告時は点滅表示
Display will blink when start the high-temp alarm

電圧計モード中に警告温度に達した場合、
高温警告表示に切り替わります。
Display will change when start the high-temp alarm

初期設定モードに入る Enter initial setting

次ページに記載
to next page

起動時に電圧を設定秒数表示してから温度計に切り替わります。
After the "startup voltmeter display seconds" have elapsed (or touched), it switches to thermometer mode.

99°C (°F) までは 0.1°C 単位表示
100°C (°F) 以上からは 1°C 単位表示

高温警告の設定 Setting of the high-temp alarm

50°C ~ 180°C
(122~356°F)



5 秒間放置で保存
Save when
No operation for 5 sec

短押し
Short

長押し
Hold

数値を変える
Changing value

早送り
Fast forward

記録のリセット Erase the record

スタートアップ電圧計の 秒数設定 Setting of the startup voltmeter display seconds

5 秒 ~ 60 秒、OFF



5 秒間放置で保存
Save when
No operation for 5 sec

短押し
Short

数値を変える
Changing value

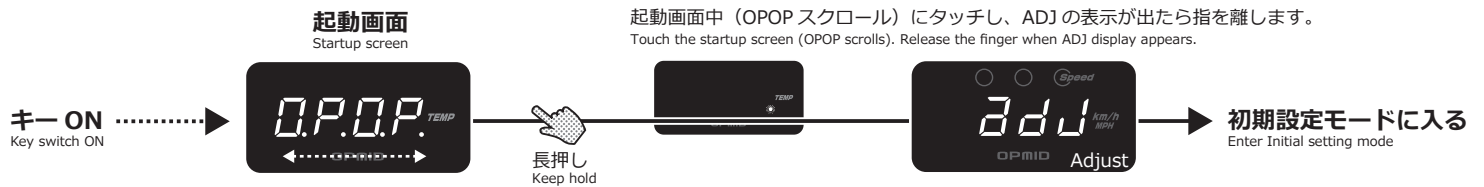
NOTE

明らかに異常な温度を表示する場合 In the case of displaying a temp which is significantly deviated

純正温度センサーと ECU 間のコードから正しく分岐接続できていない（温度信号を読み込めない）場合、構造上の都合により 80°C (176°F) 付近を固定で表示してしまいます。また、初期設定で異なる温度プログラムを選択している場合は、大きくずれた温度を表示してしまいます（次ページ参照）。

If branch connection can not be made from the code between genuine temperature sensor and ECU, Depending on the structural reasons, the temperature around 80 °C (176 °F) will be displayed fixedly. (Can not read temperature signal)

Also, if different temperature programs are selected in the initial setting, the temperature which is significantly deviated will be displayed (See next page).

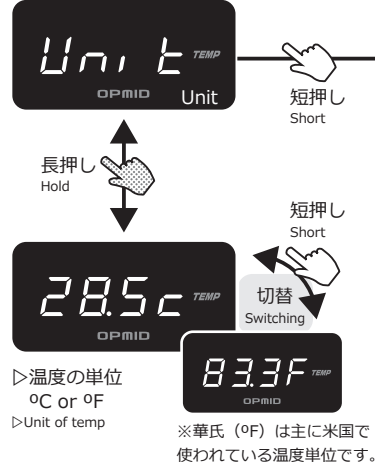


初期設定モード

Initial setting

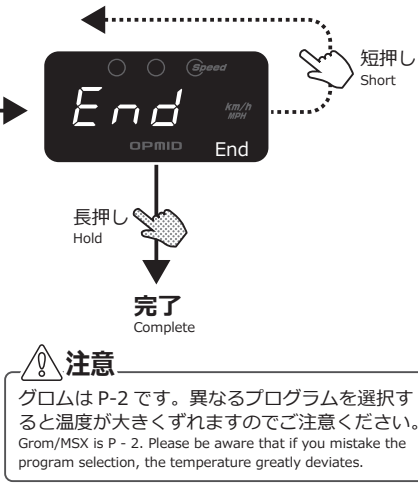
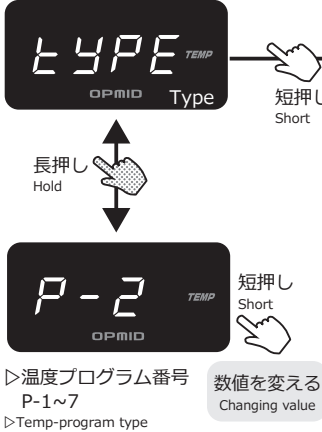
摂氏 (°C) / 華氏 (°F) の切替

Switching Centigrade / Fahrenheit



温度プログラムの切替

Switching Temp-program type



温度プログラム

- [P-1] YAMAHA-A
CYGNUS-X FI, NMAX, GTR,
BWS125, CUXI
- [P-2] HONDA-A
GROM/MSX, MONKEY FI, APE
FI, SUPER CUB FI, SUPER
CUB110, Today FI(AF67), Dio
FI(AF68), ZOOMER-X
PCX125/150, Sh mode,
LEAD125(JF45)
- SYM RX 110
- [P-3] KYMCO-A
Racing 150, VJR
- [P-4] KYMCO-B
Quannon150
- [P-5] YAMAHA-B
MAJESTY-S, S-MAX
※120°C (248°F) まで
- [P-6] HONDA-B
CBR250R(MC41), CBR125R
(JC50)
- [P-7] Aracer ECU
GROM/MSX



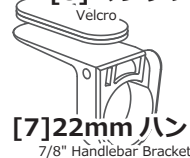
キット内容 Kit contents

M1010

キット内容	Kit contents	M1010
1	サーモメーター Thermometer	x1
2	キー ON 電源サブコード Power sub wire	x1
3	アースサブコード Ground sub wire	x1
4	センサーサブコード Sensor sub wire (500mm)	x1
5	クリップ付インシュロック Cable ties w/Clip	x1
6	インシュロック Cable ties	x1
7	22mm ハンドルバーブラケット 7/8" Handlebar mount	x1
8	マジックテープ Velcro	x1

[7] ハンドルパイプマウントはネジを外すと、クランプ部を開いてハンドルを通すことができます（グリップなどを外す必要はありません）。

[8] マジックテープ



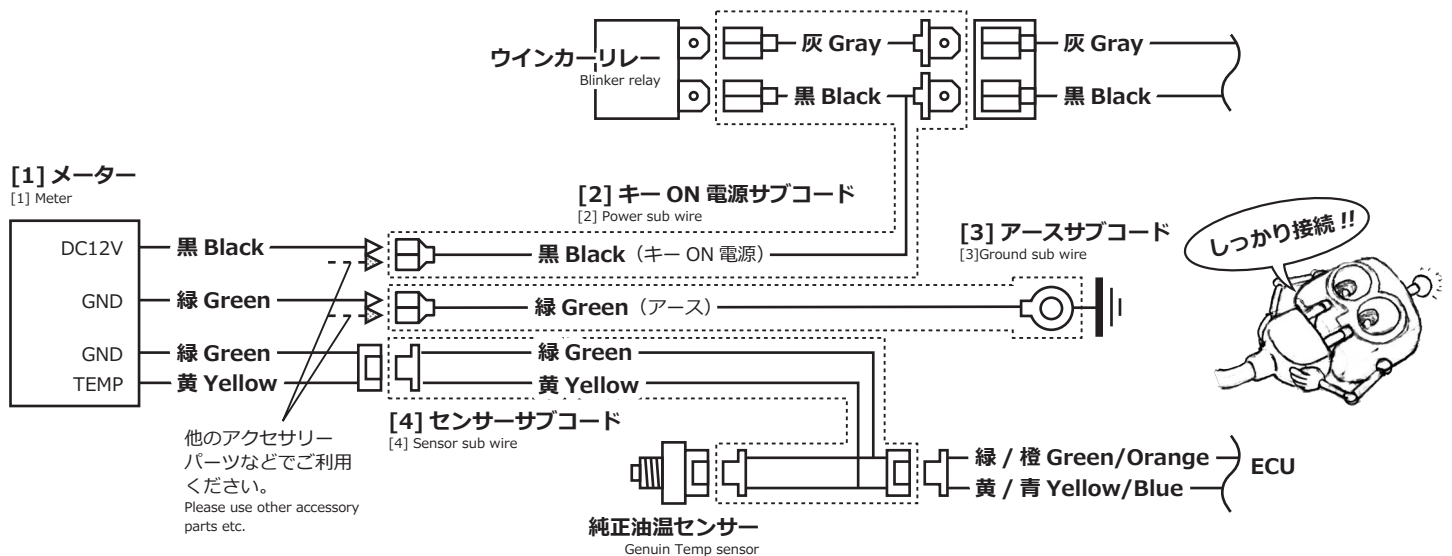
パネルに水がたまるのを防ぐために、水平より 10 度以上傾けて固定してください。
Please tilt more than 10 degrees to prevent water accumulation on the panel.

[7] 22mm ハンドルバーブラケット

7/8" Handlebar Bracket

配線図 Wiring diagram

M1010



ヘッドライトの取り外し (図 1)

ヘッドライトステー両サイドのボルト (B) 4 本を取り外す。
コネクター (C) の接続を外し、ヘッドライト ASSY を取り外す。組み立ては逆の手順で行う。

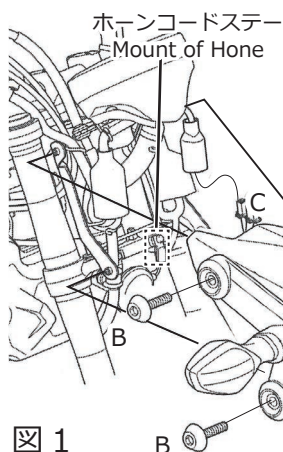


図 1

左シュラウドの取り外し (図 2)

シートを取り外す。
スクリュー (S) 4 本、トリムクリップ (T) 1 本を取り外す。
トリムクリップは中心部品を押し込むと外れます。
フューエルタンクカバーに差し込まれているシュラウド上部を慎重に引き抜く (U)。
シュラウド全体を上を持ち上げるようにして、エアクリーナーケースのからシュラウド内側のボスを上方に引き抜く (V)。組み立ては逆の手順で行う。

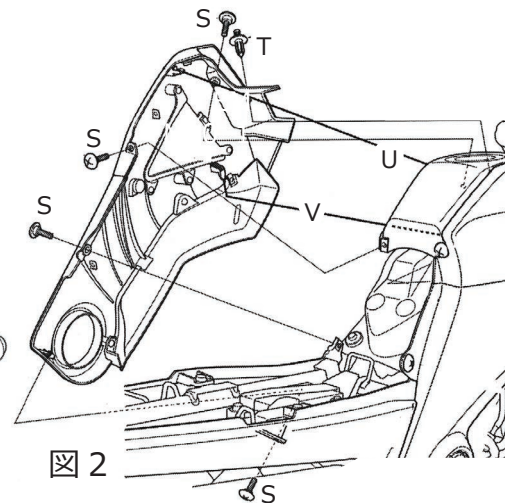


図 2

温度計本体の固定

付属のφ22mm ハンドルバーブラケットを使い、お好みの位置にメーター本体を固定する。



図 3



図 4

キー ON 電源の接続 (図 3)

ヘッドライト裏側のウィンカーリレーカブラーに [2] 電源サブコードを、黒コードと灰コードをそれぞれの色に合わせて割り込ませる。[1] メーターの黒コードを [2] 電源サブコードに接続する。

アース線の接続 (図 4)

ステアリングシステムにあるホーンコードステーの固定ボルトに [3] アースコードのアース端子を共締めする。
[1] メーターの緑コードを [3] アースコードに接続する。

油温センサーの接続 (図 5)

油温センサーカブラーの接続を外し、油温センサーハーネスをメインハーネスの分岐部まで巻き取る。
油温センサーハーネスと同じ通り道に [4] センサーサブコードを配線する。
付属のクリップ付きインシュロックを使い、コードをセンサーガードに固定する。
油温センサーハーネスのカブラーに [4] サブコードを接続し、余ったハーネスを束ねてカブラーブーツの中に収納する。
[4] センサーサブコードをメインハーネスに沿ってフロント部まで配線し、スピードメーターの下で [1] メーターに接続する。

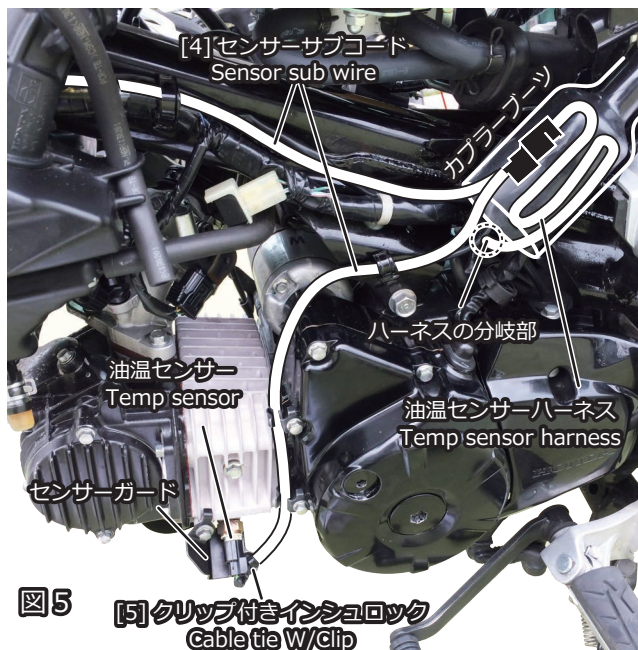
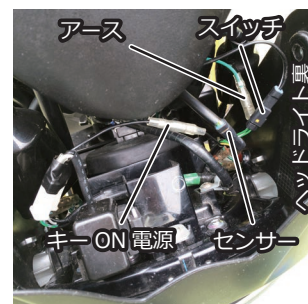


図 5



注意

ステアリングを動かした時にコードを挟んでいないか？
コード無理な力がかかっていないか？
コネクターと端子は確実に接続できているか？
よく再確認してから、外装を取り付けてください。

NOTE

説明書は更新 (情報の追加、変更) する場合がございます。
オプミッドのホームページにて最新の説明書をご確認ください。
This manual may update (add or change information).
Please check the latest manual on OPMID's website.

<http://opmid.co.jp>

OPMID M1101 180701A P1

更新がある場合、各ページの右下にあるこの英数字が変更されます。